

創薬の促進を目指したトランスレーショナルリサーチの 推進における医療系薬学研究者の役割

■日時

平成22年6月11日（金）
9:45～17:30

■場所

日本学術会議講堂
（東京都港区六本木7-22-34）



（アクセス）
東京メトロ千代田線
「乃木坂」駅 5 出口

■参加費

無料

お問い合わせ

〒105-8512 港区芝公園1-5-30
慶應義塾大学薬学部 望月真弓

電話/FAX 03-5400-2796

Email: mochizuki-my@pha.keio.ac.jp

■プログラム

9:45 - 10:00 挨拶

日本薬学会会頭 松木則夫

日本学術会議薬学委員会委員長 橋田 充

10:00-10:30 我が国の「マイクロドーズ臨床試験実施のガイドライン」の特徴と
将来への期待

大野泰雄（国立医薬品食品衛生研究所・副所長）

10:30-11:00 早期探索的臨床試験の現状と将来～科学的立場からの検証と提案～
山下伸二（摂南大学薬学部・教授）

11:00-11:30 PETイメージングと創薬

谷内一彦（東北大学医学系研究科・教授）

11:30-12:00 代謝酵素が関与する薬物間相互作用の予測法

鈴木洋史（東京大学医学部附属病院薬剤部・教授）

12:00-13:30 昼休憩

13:30-14:00 トランスポーターに関わるFDA白書；薬物間相互作用を中心に
杉山雄一（東京大学薬学系研究科・教授）

14:00-14:30 薬物動態関連遺伝子のファーマコジェノミクス

東 純一（兵庫医療大学薬学部・教授）

14:30-15:00 薬効・毒性関連遺伝子のファーマコジェノミクス

村松正明（東京医科歯科大学難治疾患研究所・教授）

15:00-15:15 休憩

15:15-15:45 代謝物に由来する副作用を少なくするために

笛木 修（医薬品医療機器総合機構・主任専門員）

15:45-16:15 開発段階における製剤開発戦略、および剤形追加の戦略

伊吹リン太（アステラス製薬㈱・執行役員）

16:15-16:45 臨床開発におけるバイオマーカーの利用

中村治雅（国立精神・神経センター病院神経内科）

16:45-17:15 創薬化学研究者と医療系薬学者の接点

長瀬 博（北里大学薬学部・教授）

17:15-17:30 まとめ

辻 彰（日本学術会議薬学委員会医療系薬学分会委員長）

■主催 日本学術会議薬学委員会医療系薬学分会

■共催 日本薬学会

■後援 日本医療薬学会、日本薬剤学会、日本薬物動態学会



日本学術会議